

# はじめに

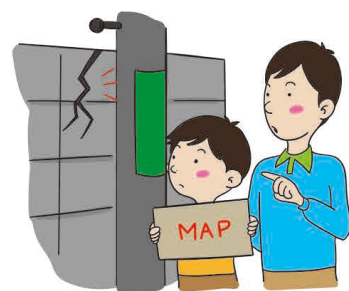
本書は、いつ起こるかもしれないさまざまな災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、日ごろから内容に目を通し理解を深めていきましょう。ヒモなどでつるし身近に置き、緊急時にご活用ください。

## もくじ

● はじめに	.....	1	● 土砂災害対策	.....	57・58
● 5段階の警戒レベル	.....	2	● 地震対策	.....	59・60
● 災害時の情報伝達	.....	3	● 揺れやすさマップ	.....	61
● 避難行動判定フロー	.....	4	● 火災対策	.....	62
● 避難の方法	.....	5	● 竜巻・雷対策	.....	63
● 自宅にとどまった場合の備え	.....	6	● 感染症対策	.....	64
● ハザードマップの見方	.....	7	● 地域ぐるみで防災に取り組もう	.....	65
● 要配慮者利用施設	.....	8	● 非常時持出品・備蓄品	.....	66
● 避難場所・アンダーパス一覧	.....	9・10	● 防災教育	.....	67・68
● 全体索引図	.....	11・12	● マイ・タイムライン	.....	69
● 拡大図(中心市街地付近)	.....	13・14	● 命を守るアプリ	.....	70
● 詳細図1~20	.....	15~54	● わが家の「緊急・救急情報」防災メモ	.....	裏表紙
● 風水害対策	.....	55・56			

## 防災ハザードマップの活用方法について

- ① 住んでいる場所と予想される危険箇所を地図上で確認しましょう
- ② 避難場所を確認しましょう
- ③ 避難経路を考えてみましょう
- ④ 家族や周辺住民と情報を共有しましょう

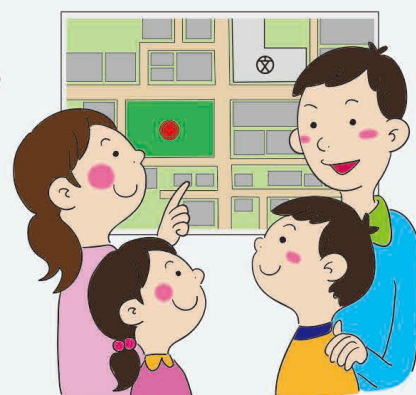


## 家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。

いざというときにあわてず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

- 家の中で一番安全な場所
- 家族一人ひとりの役割分担 (安否確認、非常時持出品・備蓄品のチェック)
- 避難場所、避難経路 (自宅と避難場所を確認)
- 自宅付近の災害リスク、危険箇所の確認
- 災害が起こったときの身の守り方
- 家族が離ればなれでいたときの連絡手段、集合場所
- 要配慮者 (高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦など) のサポートと避難方法



# 5段階の警戒レベル

高	避難情報等(警戒レベル)			河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)		
	警戒レベル状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
				洪水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)	
	<b>5</b> 災害発生 または 切迫	<b>命の危険                      直ちに                      安全確保!</b>	緊急 安全確保 ※1	<b>5                      相当</b>	<b>氾濫                      発生情報</b>	<b>大雨                      特別警報                      (土砂災害)</b>
~~~~~ <b>警戒レベル4までに必ず避難!</b> ~~~~~						
	<b>4</b> 災害の おそれ 高い	<b>危険な場所から                      全員避難</b>	避難指示 ※2	<b>4                      相当</b>	<b>氾濫                      危険情報</b>	<b>土砂災害                      警戒情報</b>
	<b>3</b> 災害の おそれ あり	<b>危険な場所から                      高齢者等は避難</b> ●避難に時間のかかる要配慮者 (高齢者・障がい者・乳幼児 等)とその支援者は避難 ●高齢者等以外の人でも危険を感じたら自主的に避難	高齢者等 避難 ※3	<b>3                      相当</b>	<b>氾濫                      警戒情報                      洪水警報</b>	<b>大雨警報</b>
	<b>2</b> 気象状況 悪化	<b>自らの避難                      行動を確認</b>	<b>大雨注意報                      洪水注意報</b>	<b>2                      相当</b>	<b>氾濫                      注意情報</b>	—
低	<b>1</b> 今後 気象状況 悪化のおそれ	<b>災害への心構えを                      高めましょう</b>	<b>早期                      注意情報</b>	<b>1                      相当</b>	—	—

※1 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。  
**警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待つてはいけません!**

避難勧告は廃止されました。これからは、  
**警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、  
**警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難**しましょう。

## 「直ちに安全確保」とは

危険な状態のなかでの避難行動はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。指定された避難先への移動(立退き避難)だけでなく、屋外での移動が危険だと判断した以下のような場合は、自宅や近隣の頑丈な建物の2階以上へ緊急的に一時避難(屋内安全確保)し、救助を待つことも検討してください。

- 夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい
- ひざ上まで浸水している(50cm以上)
- 浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い